

就職活動応援特集

総合水事業会社

水コンサルタント

人事／採用担当者に聞く

新卒採用・教育活動の今



■会社紹介

NJSは、1951年に日本最初の水環境のコンサルタントとして設立され、創業以来約70年の歴史を歩んできました。

当社は下水道の中でも、特に下水道分野に強みを持っており、昨今はデジタル技術を活用して、新しいサービスやソフトウェアの提供に力を注いでいます。

■採用活動について

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今年度の採用活動として、今年度も臨時機変態な対応が求められました。

対面での接触を減らすため、来期の採用活動について、よりリアルタイム形式のオンライン会社説明会を3月から実施し、同月末からは選考を開始します。なお、会社説明会

NJS

管理本部人事総務部



■インター開催中

当社は水処理プラントの設計・建設・維持管理、そして事業運営など、水環境に関わるあらゆる分野で社会に貢献している総合水事業会社です。日本の水インフラのハイオプトとして、3000を超える施設の設計や建設に携わってきました。

現在は全国各地に300カ所以上の維持管理現場を有しており、現場最前線の課題を設計開発へフィードバック

king

総務・人事統括 採用・研修部副参事

堀井 緑さん

菊池 梨紗子さん

コロナ禍も柔軟に対処 オンラインを積極活用

は例年よりも日程を短縮して行う予定です。

オンラインでは会社の雰囲気や伝わりにくい側面もありますが、時間や場所の制約がなくなるため、遠方の学生が参加しやすくなるほか、質問を多く受け付けられるなど、オンラインならではのメリットも感じています。

コンサルタントという仕事は、社会貢献度が高く、やりがいがありますが、イメージが湧きにくい仕事でもあり、まずは興味を持った学生に対して、具体的な仕事内容の紹介を行い、事業の特性上、

さまざまな分野の技術者が必要となりますので、多様な技術を活かせる環境があることを伝えていきます。

■新卒教育について

新入社員には例年、配属された部署の先輩社員が教育担当となり、1対1で1年間、基本的なスキルや業務について教えています。

入社後1年での自立を目標としており、より早い成長を促すため、OJT教育や研修を組み合わせた教育体制をとっています。

会社全体で若手を教育する

文化が根付いているので、対一の教育と言いつつも組織全体で人を育てることを大切にしています。

■学生へのメッセージ

当社は、「1day仕事体験」と題したイベントで実際の業務を疑似体験できる取り組みやOB・OG訪問の受け入れを行っています。

新型コロナウイルス感染症の影響を危惧される方も多いと思いますが、関心のある分野を「見て・聞いて・知る」ことが一番の企業理解と納得感のある就職活動につながると思っています。

先日、令和2年度大学等卒業予定者の就職内定状況調査の結果が報告されましたが、当社では例年と同水準の採用を予定しています。

やる気溢れる人を応援する社風ですので、水環境や水インフラに興味のある方の積極的な応募をお待ちしております。

人を育て変化に向き合う 水処理業界のバイオニア

結実です。

申込みは開催2ヶ月前まで受け付けていますので、ご興味のある方は「マジ」をご覧ください。なお、来春の1次面接はオンラインですが、最終面接はオンラインか対面のどちらかを選択して行います。

■手厚い教育研修

入社後、新入社員は約3ヶ月間集合研修を行い、その後3年目までは配属先のOJTリーダーによるマンツーマン指導でスキルを向上させるとともに、水インフラとバイオニアの両方を学ぶことができます。

■在宅勤務への対応

新型コロナウイルスの影響に鑑み、執務系の各部署では現在、出勤率を20%多い日でも50%以下に抑えています。

■自分自身で考え実行

安定していると思われがちですが、実際には大きな変化・変革の時期を迎え、課題も多く抱えています。公共インフラを人口減少社会の下でも維持するため、多くの人間が汗をかき、知恵を絞っているのです。

に向けて、メンターと呼ばれる他部署やグループの社員と繰り返し面談を行います。

4年目以降も、講義のアーカイブ映像を視聴できる専門基礎研修、資格取得講座の受講奨励制度などで「学び」への意欲に応えます。技術系の部署では勉強会が盛んに開かれており、それが難関と言われる技術士資格の保有者の多さにつながっているように感じます。

一方これからの時代は、先輩の足跡をなぞるだけでなく、一人ひとりがしっかりと自分自身で考え行動しなくてはなりません。そのためのキャリアトレーニングやOJT教育の形成

現在、出勤率を20%多い日でも50%以下に抑えています。働き方改革の一環として、以

前からのオンラインコミュニケーションの強化方針は固まっていたので、リモートワークのための制度や環境は十分に整っていると思います。

課題を解決するためには、今までのやり方を踏襲するだけではなく、自分自身で考え実行する力が必須になります。

特別な知識やスキルは必要ありませんが、水環境・社会に貢献したいという意識とともに、自分自身のことを表現できる方、熱意を持って真摯に取り組める方をお待ちしています。

私たちが伝えるのは「水」の現在と未来—

日本水道新聞社

“水の世紀”—「水」と「人」との共生を追求し続けます。

株式会社 日本水道新聞社

〒102-0074
東京都千代田区九段南4丁目8番9号 日本水道会館1F
TEL:03(3264)6721(代)

刊行物
日本水道新聞 毎週2回(月・水曜日)発行
日本下水道新聞 毎週1回(水曜日)発行
水道論 毎月1日発行
その他



NIHONGENRYO



“0”から“∞(無限大)”
ものづくりのおもしろさ

ものづくりを通して

子どもたちにも

輝く生命の

日本原料はSDGsの

いつの時代に生まれる

どこに暮らす人々にも

水を届けたい

達成に貢献しています



https://www.genryo.co.jp

日本原料株式会社

〒210-0005 神奈川県川崎市川崎区東田町1-2 TEL.044-222-5555 FAX.044-222-5556

